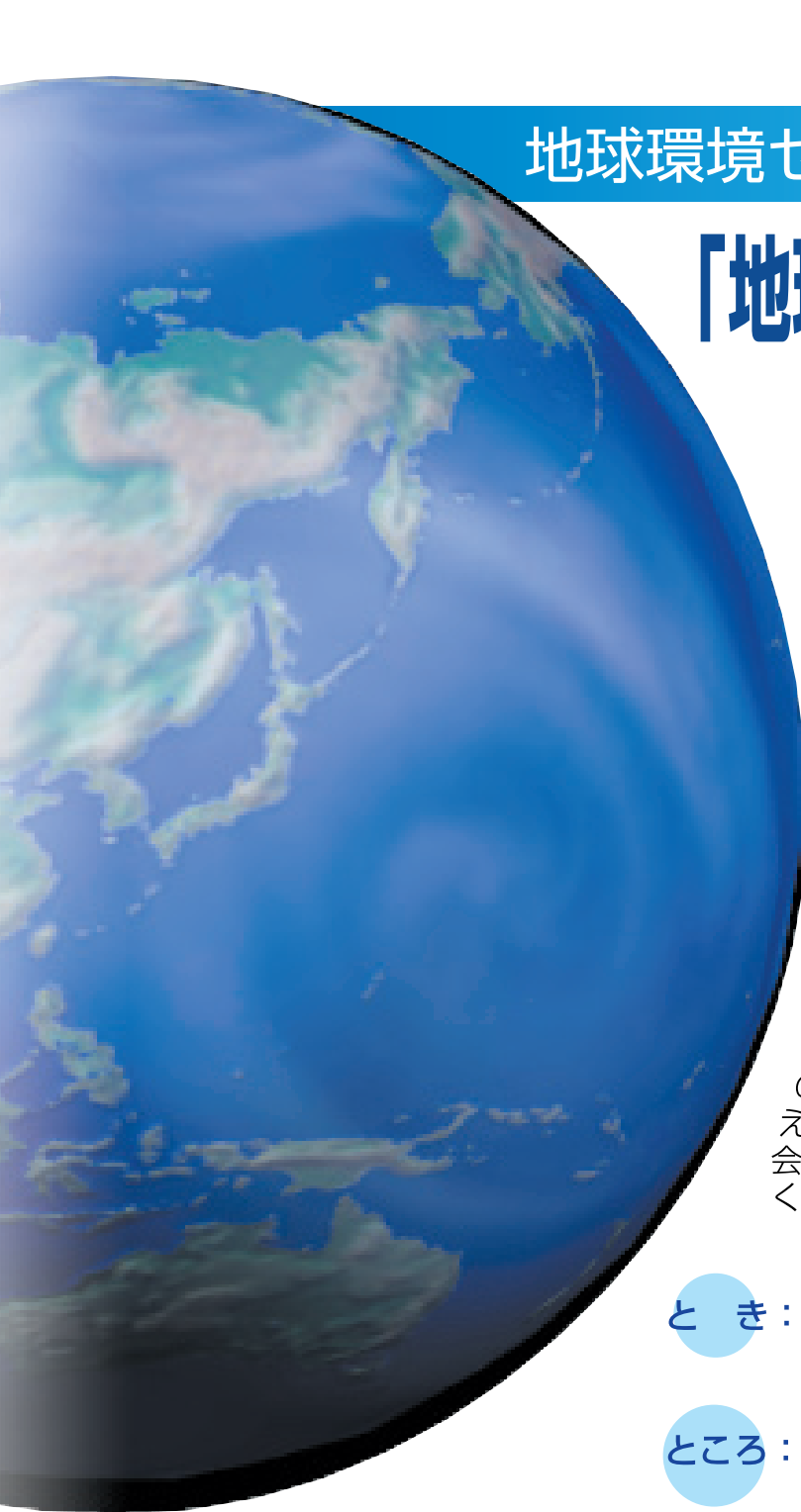




地球環境セミナー

「地球温暖化問題に地域は どのように向き合うか」

北海道洞爺湖サミットにおいては温室効果ガスの削減に向けてどのような国際協調を進めていくかが大きな課題となっていますが、温暖化問題は環境問題であると同時に日常の経済・エネルギー問題でもあり、国や企業だけでなく地域や住民も含めた幅広いレベルで実践的に進めていかなければならない課題です。特にこれからの地方の活性化に向けては、既成の政策モデルではない、地方における創造的な独自の持続可能な地域社会システムの構築が必要となっています。

今回のセミナーでは、地域として地球温暖化に向けてどのように取り組んでいけばいいのか。地球環境問題の解決と地域の安定的な経済発展の両立を目指す方法、知恵はあるのか。東北海道地域の実践的な取り組みを踏まえながら、脱温暖化、環境共生の新たな地域社会システムの構築に向けて地域の皆さまと幅広く考えたいと思っております。

と き：平成20年**6月30日**(月)
午後2時～午後4時30分

ところ：釧路公立大学1階 第1会議室
(釧路市芦野4丁目1番1号)

<プログラム>

14:00 基調講演：上智大学大学院地球環境学研究科 柳下 正治 教授

《講師略歴》1971年東京大学工学部都市工学科卒業。同年厚生省に入省し、1977年より環境庁。約30年間、廃棄物、環境影響評価、大気環境、水環境、環境保健、地球温暖化など様々な環境政策に携わる。1999年国立環境研究所環境研修センター所長。2001年名古屋大学大学院環境学研究科教授、2005年より現職。

14:40 基調報告：釧路公立大学学長、地域経済研究センター長 小磯 修二

15:20 討論会：コーディネーター 読売新聞北海道支社編集部長 飯田 政之

参加料は無料ですが、
参加をご希望の方は
事前にお申し込みください。

《参加申し込み・お問い合わせ先》
釧路公立大学地域経済研究センター
電話 0154(37)5325 Fax 0154(37)5376
E-mail r-center@kushiro-pu.ac.jp

主催：釧路公立大学地域経済研究センター・読売新聞北海道支社